



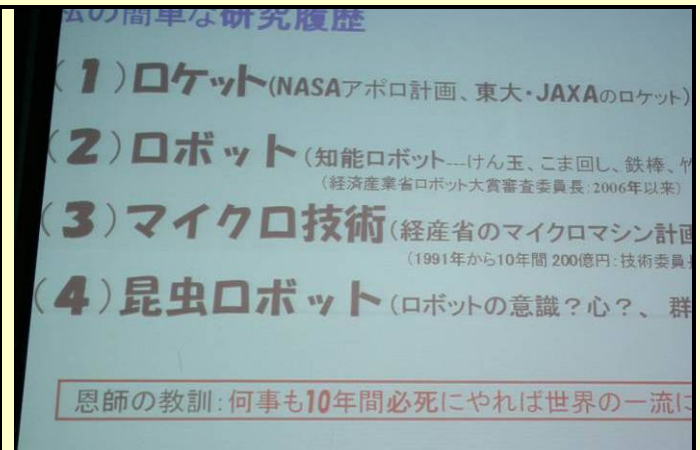
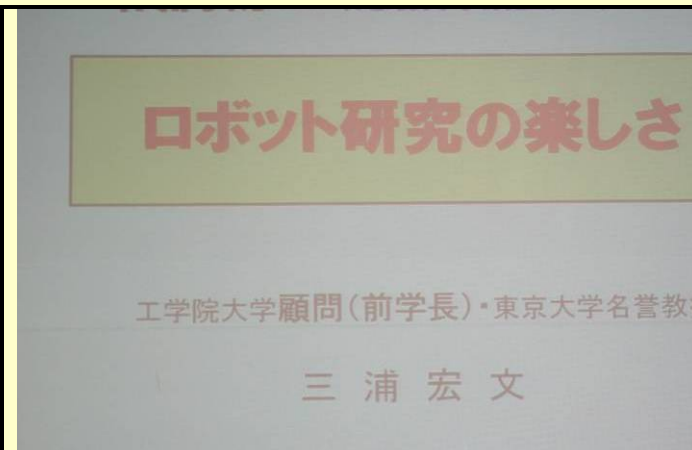
## SS科学基礎「先端科学講座」



12月9日(金)にSS科学基礎の「先端科学講座」として、工学院大学顧問(前学長)・東京大学名誉教授 三浦宏文先生による出張講義が開催されました。三浦先生は、世界で初めて二足歩行ロボットを開発した後に、人間のような意志を持つロボットの研究を行い、「昆虫ロボット」を開発しました。

講義の演題は「ロボット研究の楽しさ」でした。講義内容は、①ロボットと自動機械、②ロボットの知能はどのように実現されるのか、③遊戯ロボットの開発、④ロボットは意志を持てるのか?⑤昆虫ロボットの開発について、⑥マイクロ技術を利用するロボット開発研究、⑦ロボット研究の行方についてでした。

【対象】英進部1学年

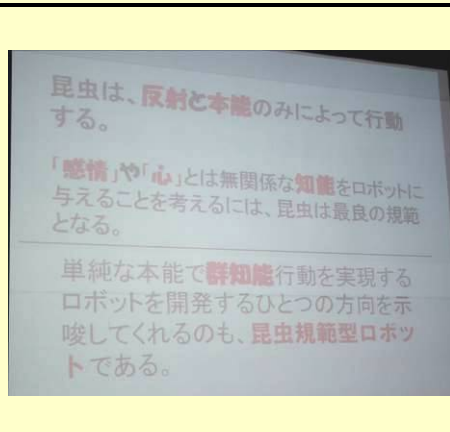


ロボット研究の内容を先生が出演されたNHKテレビ番組「爆笑問題のニッポンの教養」から抜粋し、わかりやすく説明して下さいました。

ロケットを研究していくうちに、ロボットの研究に興味を持った経緯について話して下さいました。



質疑応答の時間を設けました。生徒たちから数多くの質問が出ました。先生は一つ一つ丁寧に答えて下さいました。



昆虫をモデルとするロボット開発の意義や昆虫規範型ロボットについて学びました。生徒たちも真剣に耳を傾けていました。



けん玉ロボット、二足歩行ロボット、四足歩行ロボット、鉄棒ロボットなどについて、動画を交えて説明して下さいました。